

6月~8月 伊豆長岡ブルーベリー狩り

江間地区の果物狩りといえば、冬・春は『イチゴ狩り』ですが、ここ数年、夏の顔として『ブルーベリー狩り』も定着してきました。六月十三日、『おざわさん家』で行われた開村式には市長らが招待され、夏の味覚を楽しみました。ブルーベリー狩り村は八月下旬まで開園、車イスでの入場も可。料金は各園によって異なりますが、三歳未満は無料です。果物狩り・夏の巻を、家族でこ体験あれ。問合せ

おざわさん家(おざわ農園)
電話055(948)1205
渡辺さん家(渡辺農園)
電話055(948)3459
大富さん家(大富農園)
電話055(948)1133



甘酸っぱい夏の味覚を楽しむ来場者



江川酒の原料となる酒米・山田錦を植える参加者

6/14 江川酒はここから

長崎創造塾らが酒米を田植え
『江川酒』は、葦山代官だった江川坦庵公の生誕二百年を記念して平成十三年から復活・販売している。江川家伝承の日本酒です。今年も、その原料となる酒米を作るため、江川酒を造る会(渡辺和夫会長)と長崎創造塾(久保田泰雄塾長)が田植えを行いました。この日、集まった参加者約四十人は、長崎区が管理する約千六百平方メートルの田んぼに山田錦の苗を植えました。十月初旬には米を収穫し、江川酒の純米大吟醸(坦庵)の原料として使用する予定です。今年も、国民文化祭で坦庵公が主役になる年。『江川酒』のお米も豊作を期待しましょう。

6/17~8/7 市長とひざ交えて

市内十八カ所で市政懇談会
現在、市長が各地区を訪れて市政を報告し、市民の皆さんと直接意見交換をする場として、市政懇談会を開催しています。六月十七日の江間防災センターを皮切りに、八月七日の田原野公民館まで、市長と市職員が市内十八カ所を訪れ、市の主要事業や課題などについて説明しつつ、市民の皆さんのご意見に耳を傾けています。今年度の市政懇談会も、残すところあと二カ所。市長とひざ交えて話すよい機会ですので、対象地区の人だけでなく、ぜひ多くの皆さんでお越しください。市政懇談会の日程については六ページ記事を参照。



写真は6月17日・江間防災センターでの市政懇談会

6/22 私たちがPRします

伊豆の国市観光協会は、今年度総会の中で市キャンペンガールに委嘱状を交付しました。公募により選ばれたのは、ミスあやめ・加藤綾乃さん(清水町)、準ミスあやめ・大嶽朋美さん(沼津市)、ミスあやめ・伊豆長岡温泉・笹原良美さん(東京都)、準ミス伊豆長岡温泉・鈴木あゆみさん(富士市)の四人。



写真右から加藤さん、大嶽さん、笹原さん、鈴木さん

7/3~7/5 今年も盛大に開催



演芸会のトップを飾る芸妓連の『華のあやめ踊り』

7/4~7/5 祭や競輪学校を見学

長岡京市訪問団と交流
姉妹都市・京都府長岡京市から、『第七十四回源氏あやめ祭』に合わせ市民団が訪問しました。一行は四日の演芸会を鑑賞し、伊豆の国市友好都市交流協会との交流会の後、湯らつくす公園『お祭り広場』にも参加。昼夜にわたり、あやめ祭の雰囲気を楽しみました。翌日は、『伊豆長岡ブルーベリー狩り村』や伊豆市の『日本競輪学校』、『サイクルスポーツセンター』などを見学し帰途に着きました。秋には、当市友好都市交流協会も、『秋の京都・もみじ狩りツアー』を企画し、長岡京市を訪問します。詳しくは、(事務局)秘書広報課 電話055(948)1431まで。

絶世の美女・あやめ御前と夫・源頼政公をしのぶ伊豆長岡温泉恒例のお祭りも、今年で七十四回。アクシスがすぎでは三日間にわたり、伊豆長岡温泉芸妓連による踊りやプロ歌手による歌謡ショーなどの『演芸会』が行われ、華やかなステージで観客を魅了しました。また三日夜には源氏山あやめ御前広場で『あやめ御前の夕べ』が、四日昼には西琳寺で『供養祭』が、四日、五日の夕方から夜にかけては古奈、長岡の両温泉場でお祭り広場『武者パレード』などが繰り広げられました。今年も地元住民や観光客延べ約二万九千人が楽しみ、温泉場全体が熱気で包まれた三日間でした。



日本競輪学校では迫力ある400ccピスト走行を見学

7/11~7/12 カフェ赤い靴下



昭和初期の世相を描いた舞台『カフェ赤い靴下』

伊豆の国市劇団・いず夢(藤田弓子座長・河合孝彦劇団代表)の第十四回公演『カフェ赤い靴下』(脚本・演出 河野洋)の公演が、二日間 にわたり行われました。『カフェ赤い靴下』は、昭和初期の東京浅草が舞台。世界大恐慌と軍国主義が迫る世の中、カフェで踊る女たちや訪れる客を通じて、時代の不安や人情、喜びや哀しみを描いた作品です。会場のアクシスかつらぎ大ホールには、二日間で延べ約八百人が来場しました。なお、伊豆の国市劇団・いず夢は、秋に開催される国民文化祭『演劇の祭典・江川太郎左衛門英龍伝』でも活躍します。この秋も、いず夢の舞台にご期待ください。

7/14 本番もいい演技を

大仁小で伊豆の頼朝発表
この日、市内の小学五年生約五百人を対象に大仁小体育館で行われた古典芸能教室で、『狩野川能』で上演する創作子ども能『伊豆の頼朝』の中間発表が行われました。主役の源頼朝役を務める伊藤瞭くん(葦山小)は、当日はもったい演技をするので、先生や家族に見てもらいたい、平兼隆役の鈴木礼智くんや北条時政役の鈴木英明くん(ともに長岡南小)は、最後の戦う場面が見どころ。お客さんが払う入場料分の演技をします」と意気込みを語ってくれました。『狩野川能』は今年、舞台をアクシスかつらぎに移し、天候に関係なく昼間から能が鑑賞できるようになります。『狩野川能』については九ページ記事を参照。



子どもたちが熱演する創作能『伊豆の頼朝』